

## EER算出表活用にあたって

(公社)日本栄養士会学校健康教育事業推進委員会では、各地域・学校の実態に応じた学校給食摂取基準を算出し、児童生徒にとってより良い栄養管理が実現できるよう、『EER算出表』をHPからダウンロードできるようにしておりました。

今回、学校給食摂取基準が平成30年8月1日から施行されたことに伴いまして、見直しをしました。

この計算表に児童生徒の生年月日・身長・体重を入力することによって、その集団におけるエネルギーの摂取基準は一つの値が求められます。また、その数値を用いて、その集団における摂取基準を算出することも可能です。

これによって、より大きな集団の摂取基準を、より短時間で算出することができ、その地域・学校の実態に合った値を算出することができます。自分が勤務する地域の実態を把握し、その後の栄養管理や食育へと展開していただきたいと考えております。

また、この計算表を用いることによって一つの値が決まりますが、対象となる子ども達は一年間で大きく成長する上に、身体活動レベルも様々であり、必要な栄養量を正確に把握することは大変難しいと考えます。したがって、適用に当たっては、児童生徒の個々の健康及び、生活活動等の実態、並びに地域の実情に十分配慮しながら、子ども達の健康のためにより良い栄養管理へとつながるよう、ご活用いただければと思っております。

今回も、『EER算出表』をHP上でダウンロード可能とするにあたって、元文部科学省学校給食調査官の田中延子先生に『学校給食摂取基準の活用』をご執筆いただいたとともに、この『EER算出表』の製作者である石川県七尾市立七尾東部中学校の北出宏予先生にも多大なるご協力いただきました。

『学校給食摂取基準の活用』を熟読し、十分に理解をしていただいた上で、様々な取組を進めていただきたいと考えております。

(公社)日本栄養士会学校健康教育事業推進委員会